

令和3年度
新型コロナウイルス感染症に係る調査（第6回）

（令和4年3月1日時点）

岡山県中小企業支援センター

（公財）岡山県産業振興財団

新型コロナウイルス感染症に係る調査の概要

1 目 的

新型コロナウイルス感染症が企業活動に及ぼす影響の実態を把握するため、県内の中小企業者・小規模事業者を対象とした幅広い業種に対してアンケート調査を実施。5月を第1回目として、1年間にわたり定期的に調査を行う。

新型コロナウイルス感染症の影響による売上高の推移、業況回復に必要な期間などを調査することで県内事業者の実態を把握し、今後の支援策等を検討するための資料として活用する。

2 調査対象

岡山県下の事業者 4, 118社

3 調査方法

インターネット及びFAXによるアンケート調査

4 調査時点

令和4年3月1日（火）

5 回収時期

令和4年3月1日（火）～令和4年3月11日（金）

6 回収状況

回収企業数 1, 320社 （32.1%）

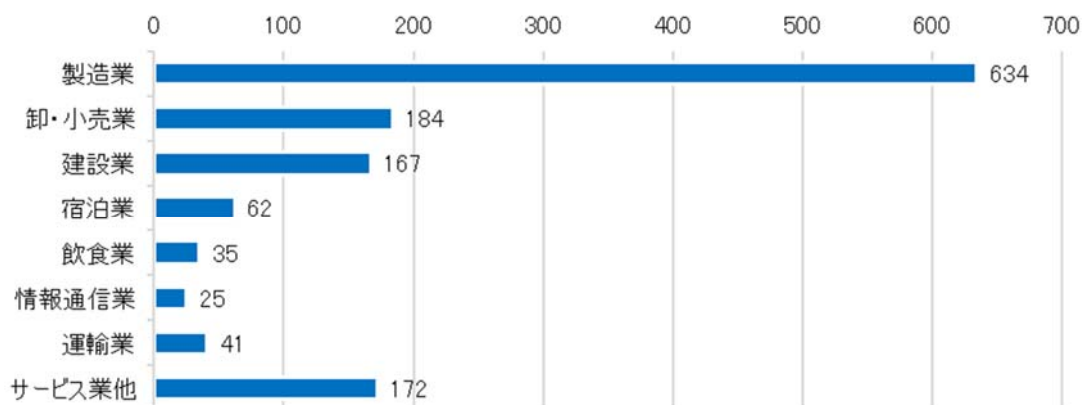
7 調査結果

(※集計上、グラフ内の数値を合計しても100%にならない場合があります。)

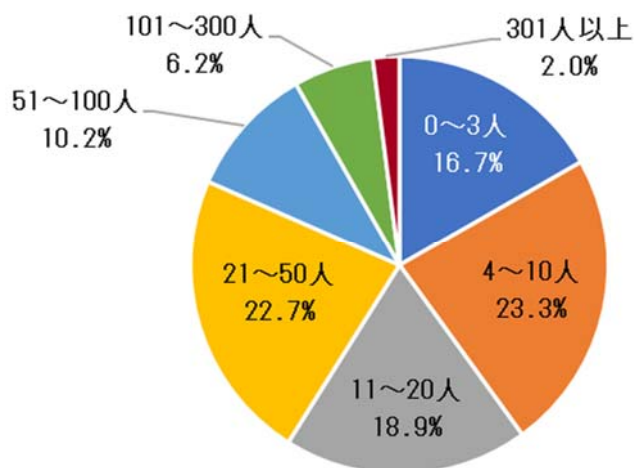
(1) 業種

	回答社数	構成比
製造業	634 社	48.0%
卸・小売業	184 社	13.9%
建設業	167 社	12.7%
宿泊業	62 社	4.7%
飲食業	35 社	2.7%
情報通信業	25 社	1.9%
運輸業	41 社	3.1%
サービス業他	172 社	13.0%

計 1,320 社

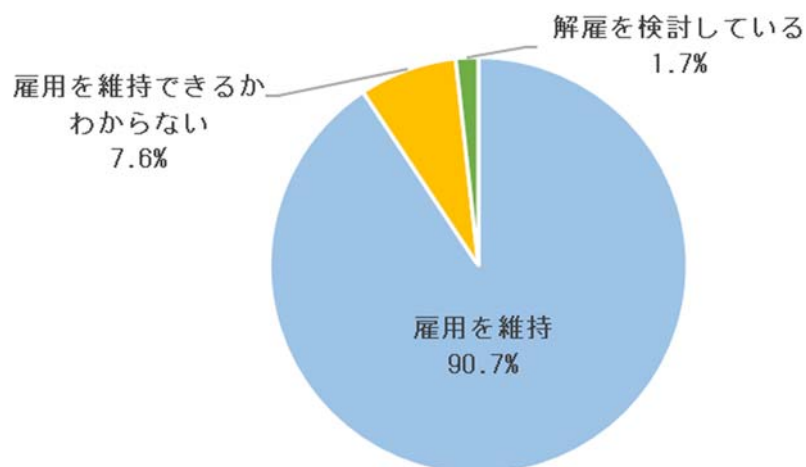


(2) 従業員数



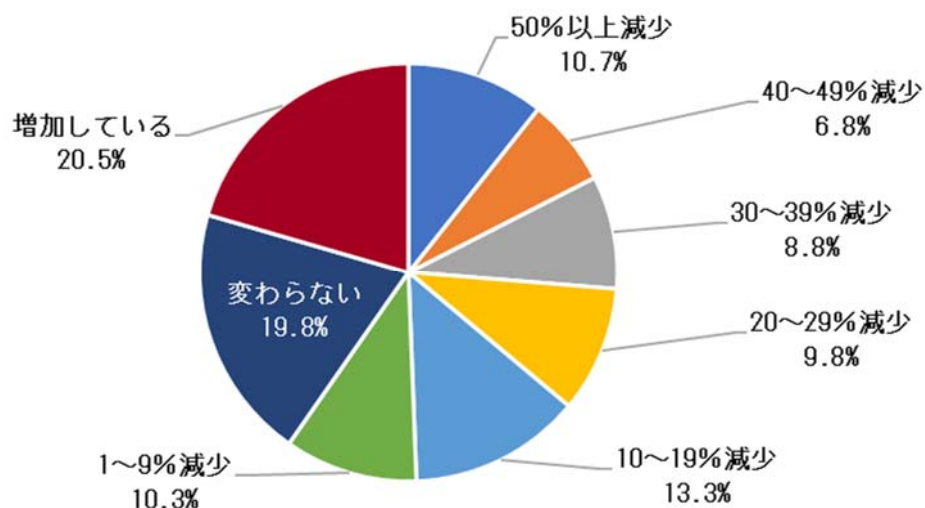
(3) 今後の従業員の雇用について、状況はどうか

全体の90.7%が「雇用を維持する」と回答し、前回1月の調査から0.1ポイント減少した。しかし、1.7%が「解雇を検討している」と回答しており、前回より0.8ポイント増加した。長引くコロナ禍で雇用が悪化するおそれがある。



(4) 2022年2月の売上高は、2020年2月と比較してどうか

新型コロナウイルス感染症に顕著な影響を受ける前の2020年2月と比較して、59.7%の事業者は売上が減少していると回答しており、そのうち「50%以上減少」と回答した事業者は10.7%だった。一方で、20.5%の事業者は「増加している」と回答しており、業況の2極化が見られた。



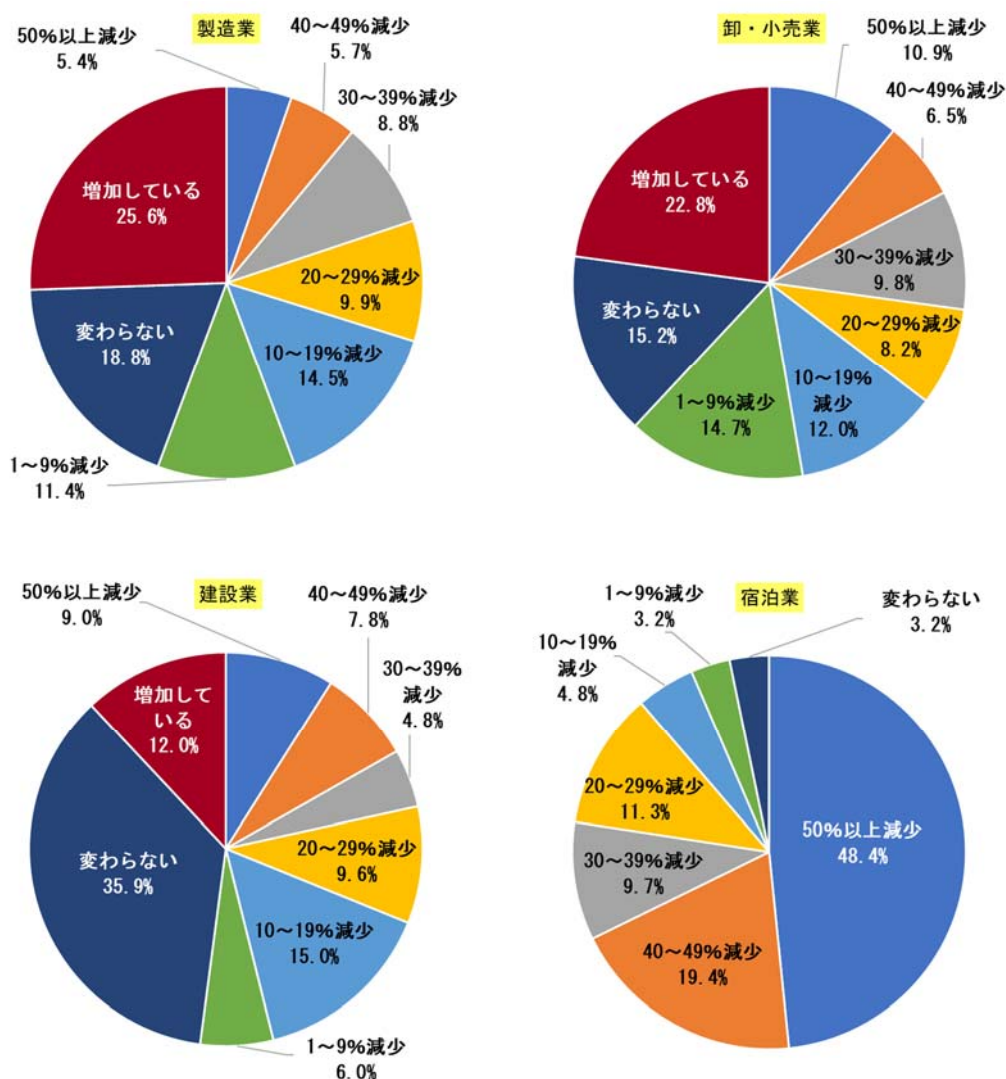
■業種別 2020年2月比 売上高

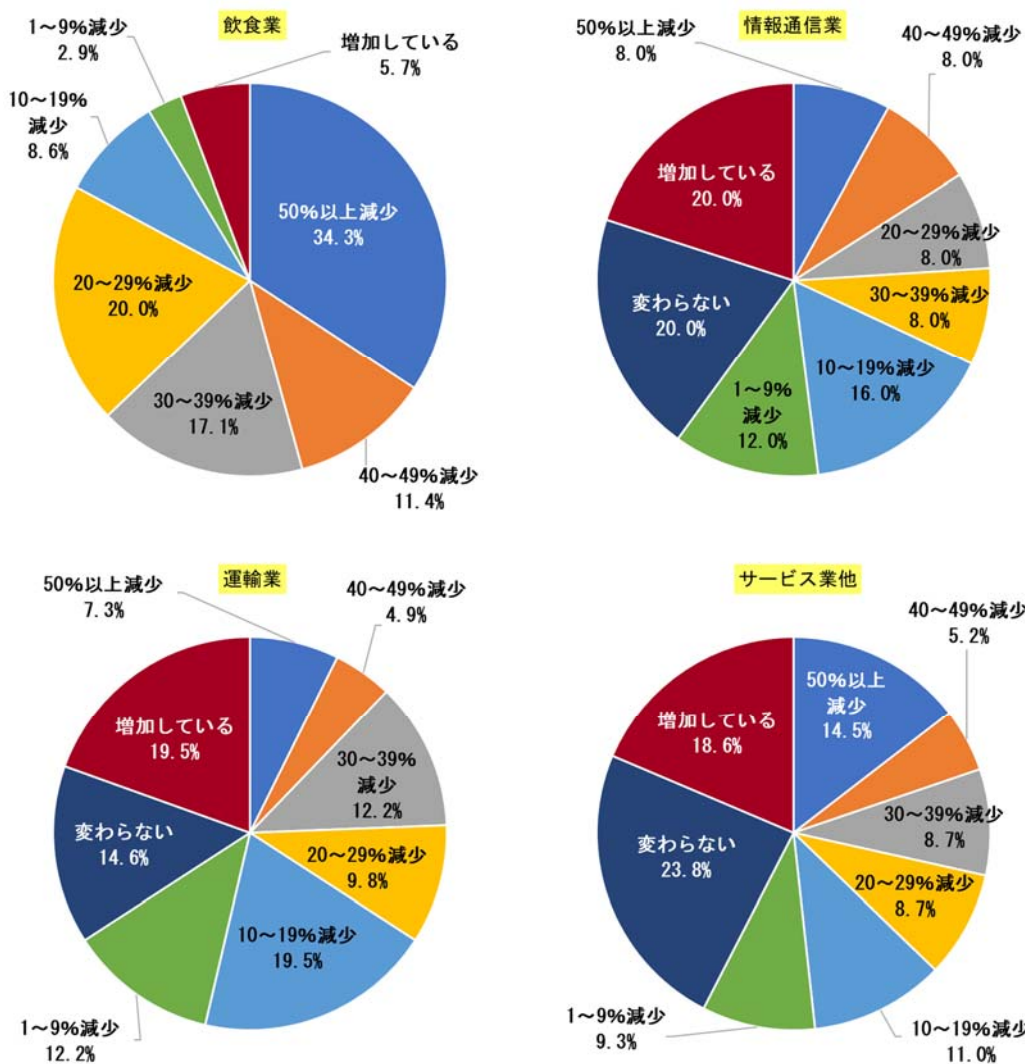
(単位：社)

	50%以上減少	40～49%減少	30～39%減少	20～29%減少	10～19%減少	1～9%減少	変わらない	増加している	合計
製造業	34	36	56	63	92	72	119	162	634
卸・小売業	20	12	18	15	22	27	28	42	184
建設業	15	13	8	16	25	10	60	20	167
宿泊業	30	12	6	7	3	2	2	0	62
飲食業	12	4	6	7	3	1	0	2	35
情報通信業	2	2	2	2	4	3	5	5	25
運輸業	3	2	5	4	8	5	6	8	41
サービス業他	25	9	15	15	19	16	41	32	172
	141	90	116	129	176	136	261	271	1,320

売上が減少した事業者は宿泊業が96.8%と最も多く、次いで飲食業が94.3%だった。また、売上が「50%以上減少」と回答した事業者は、まん延防止等重点措置等の影響により宿泊業が48.4%と最も多く、次いで飲食業が34.3%となった。

全ての業種において半数以上の事業者の売上が減少しているが、特に宿泊業、飲食業への影響が大きく、次いで運輸業、卸・小売業が影響を受けている。

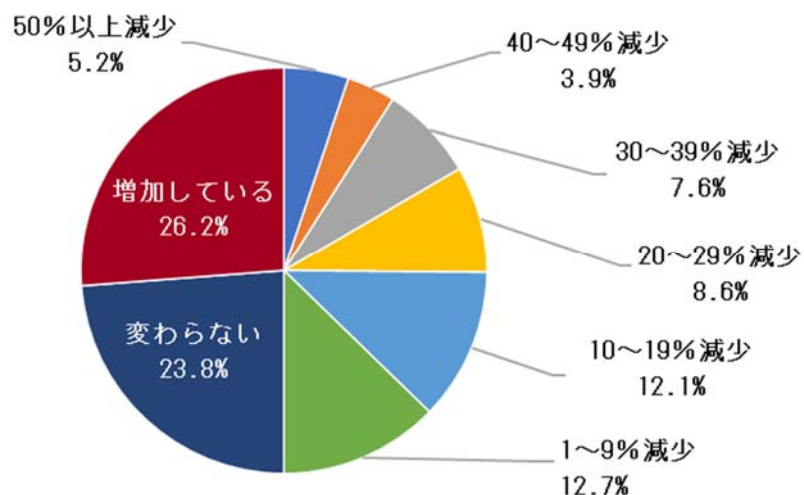




(5) 2022年2月の売上高は、2021年2月と比較してどうか

新型コロナウイルス感染症の影響を既に受けていた昨年2月と比較して、売上が減少した事業者は50.1%となっており、前回調査から6.2ポイント悪化した。また、「50%以上減少」と回答した事業者は5.2%となっており、前回調査時より0.2ポイント悪化した。

また、「増加している」と回答した事業者は26.2%となっており、前回調査時より8.3ポイント悪化した。



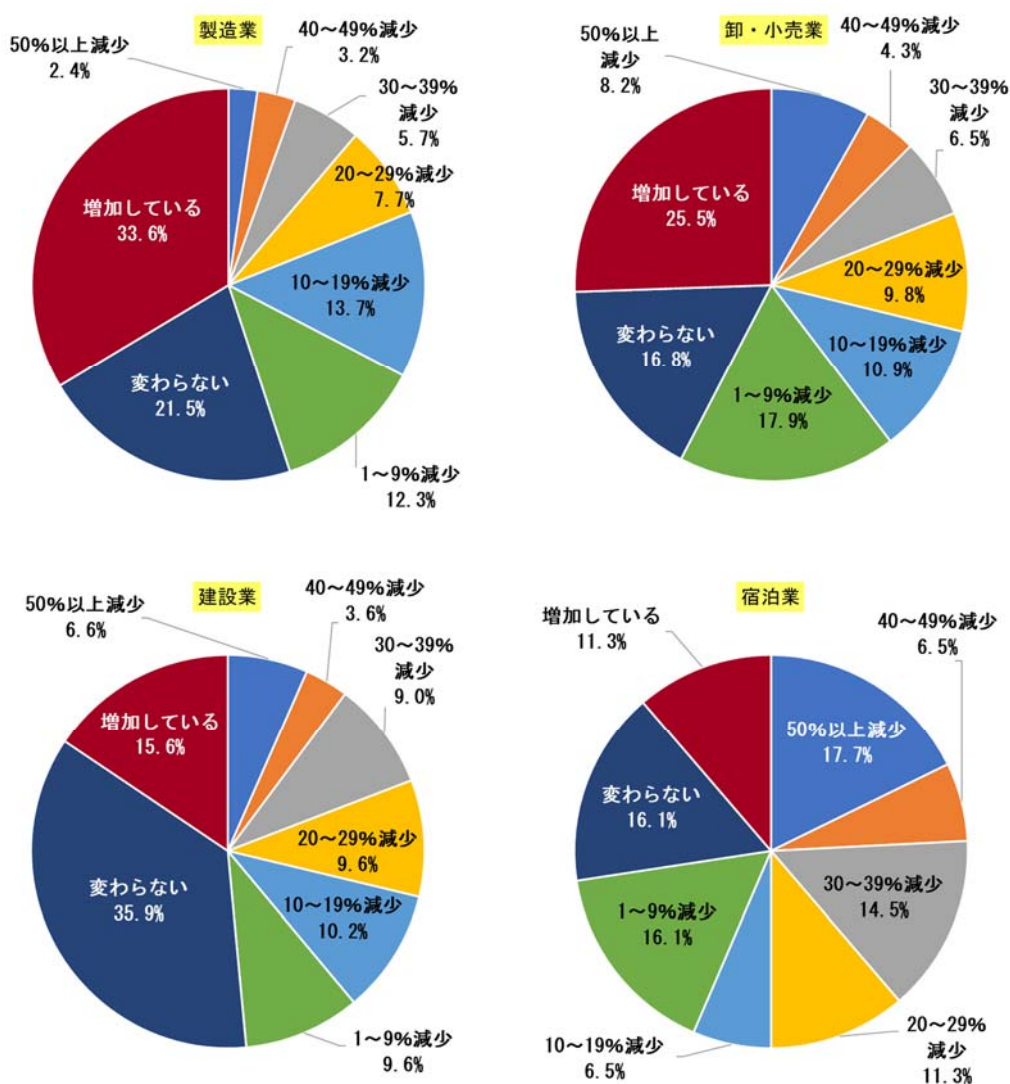
■業種別 2021年2月比 売上高

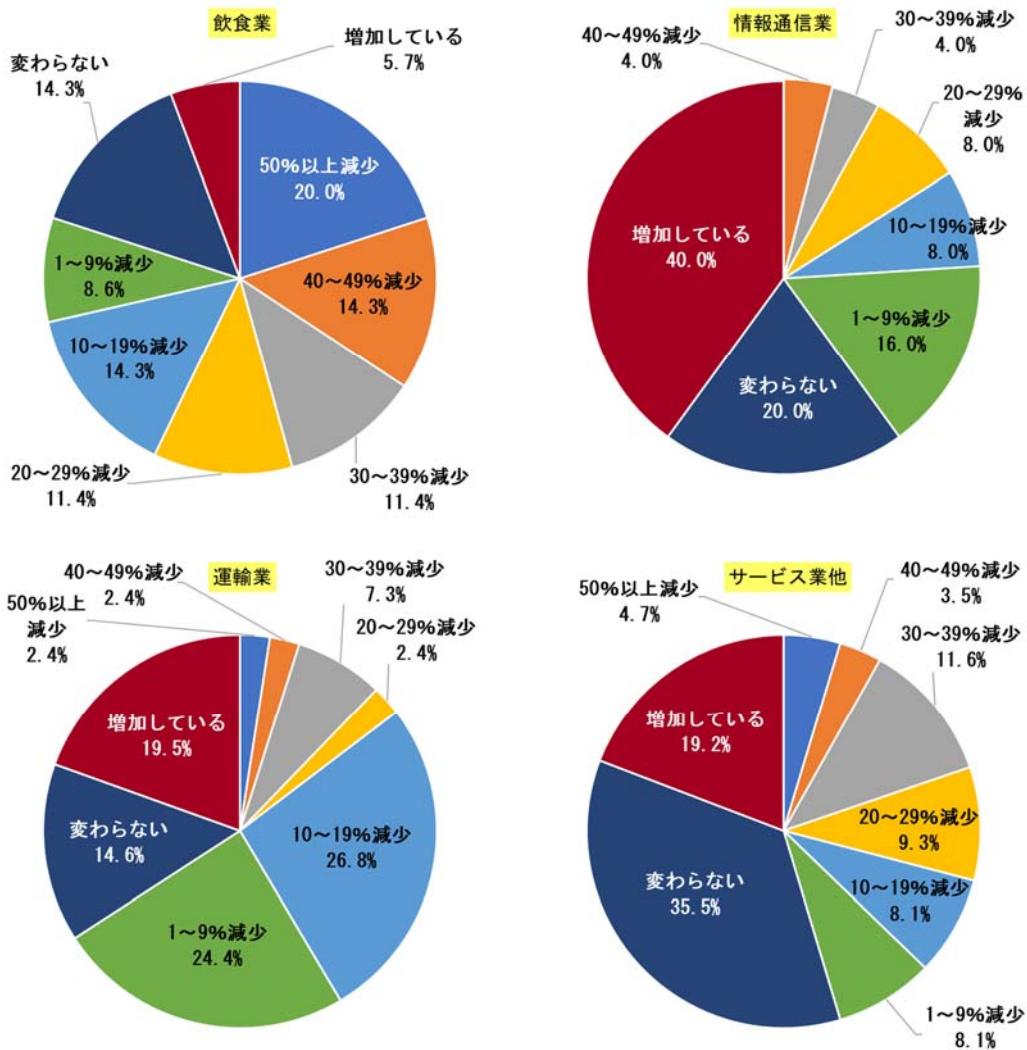
(単位：社)

	50%以上減少	40～49%減少	30～39%減少	20～29%減少	10～19%減少	1～9%減少	変わらない	増加している	合計
製造業	15	20	36	49	87	78	136	213	634
卸・小売業	15	8	12	18	20	33	31	47	184
建設業	11	6	15	16	17	16	60	26	167
宿泊業	11	4	9	7	4	10	10	7	62
飲食業	7	5	4	4	5	3	5	2	35
情報通信業	0	1	1	2	2	4	5	10	25
運輸業	1	1	3	1	11	10	6	8	41
サービス業他	8	6	20	16	14	14	61	33	172
	68	51	100	113	160	168	314	346	1,320

売上が減少した事業者は、飲食業が 80.0%と最も多く、次いで宿泊業が 72.6%だった。また、売上が「50%以上減少」と回答した事業者は、飲食業が 20.0%と最も多く、次いで宿泊業が 17.7%となった。前回調査では、飲食業と宿泊業に改善の傾向が見られたが、再び悪化した。

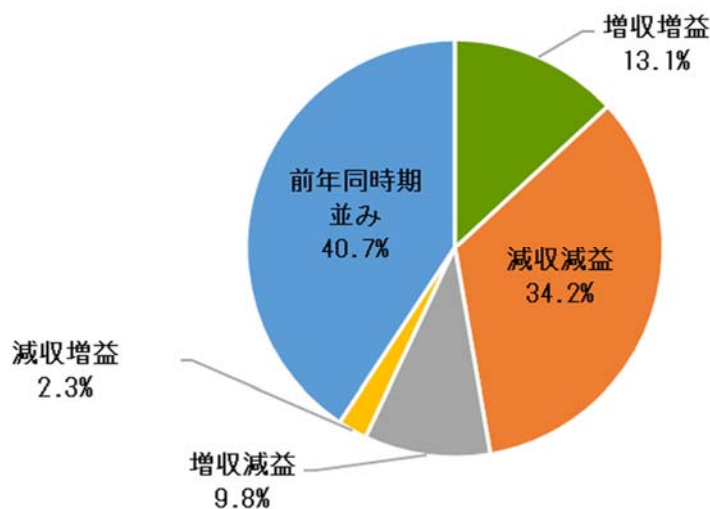
一方、製造業、建設業、情報通信業、サービス業他では、「増加している」「変わらない」と回答した事業者が半数を超えており、業況の二極化が見られた。





(6) 2022年4月～2022年9月の業績見通しについて、どのように考えているか

「増収増益」を見込んでいる事業者は 13.1%にとどまった。一方で、「減収減益」と回答した事業者が 34.2%となり、多くの事業者は、さらに厳しい状況が続くと考えていることが明らかとなった。



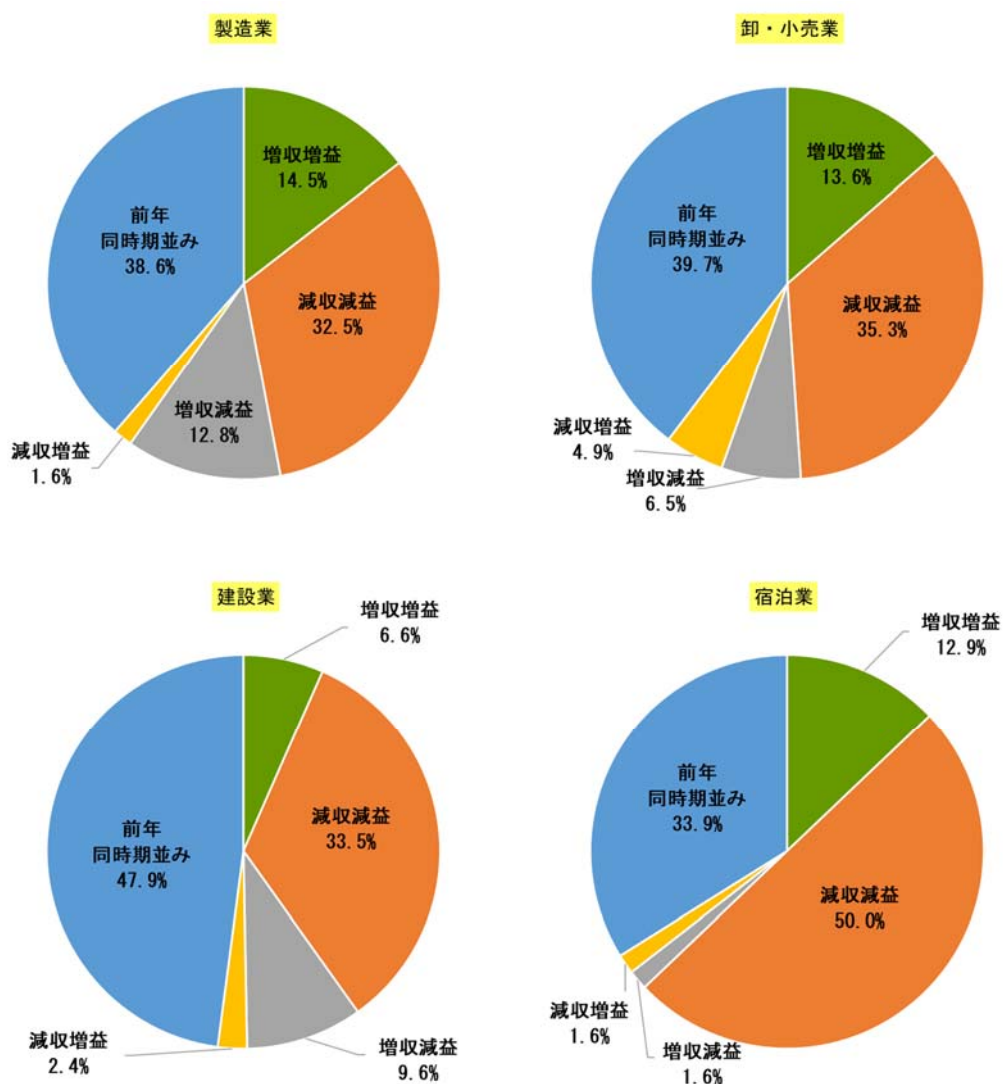
■業種別 2022年4月～2022年9月の業績見通し

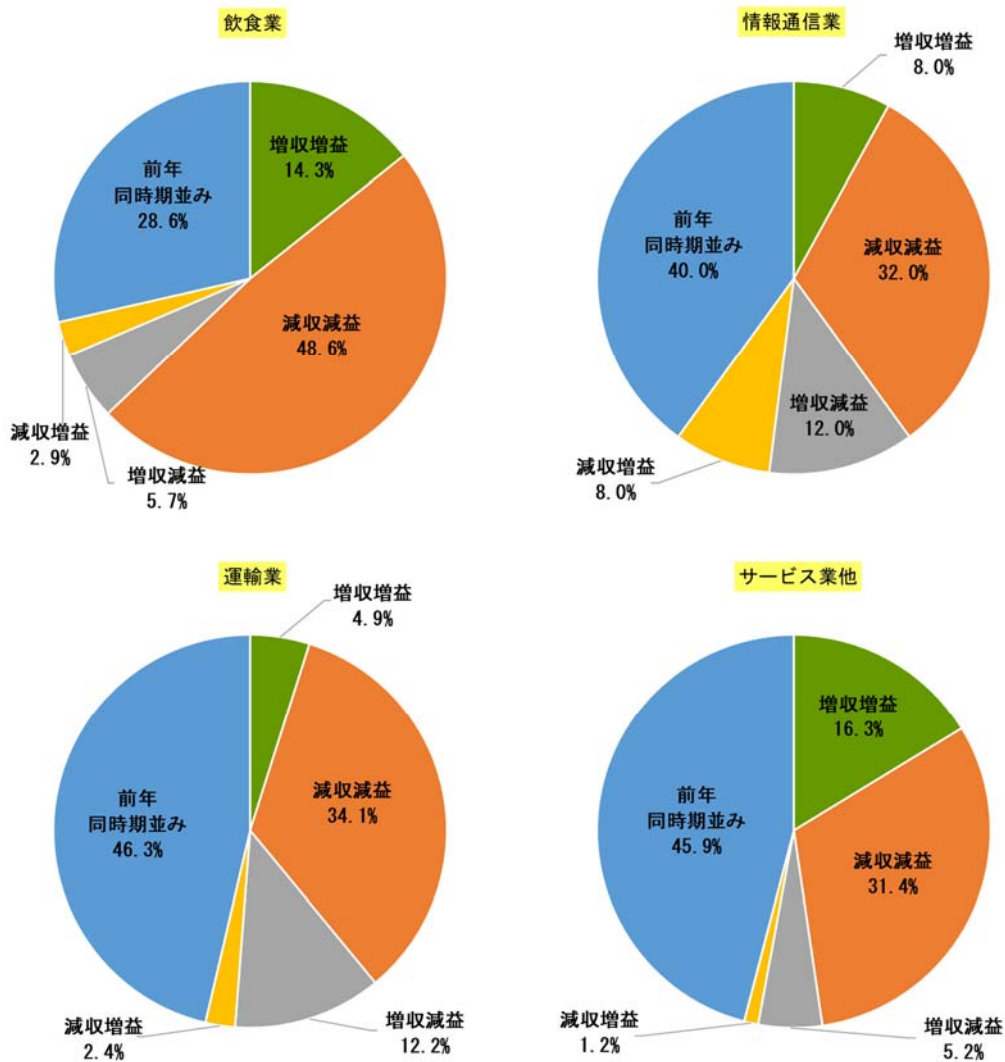
(単位：社)

	増収増益	減収減益	増収減益	減収増益	前年 同時期並み	合計
製造業	92	206	81	10	245	634
卸・小売業	25	65	12	9	73	184
建設業	11	56	16	4	80	167
宿泊業	8	31	1	1	21	62
飲食業	5	17	2	1	10	35
情報通信業	2	8	3	2	10	25
運輸業	2	14	5	1	19	41
サービス業他	28	54	9	2	79	172
	173	451	129	30	537	1,320

「減収減益」を想定している事業者は、宿泊業で最も多く 50.0%となっており、次いで飲食業が 48.6%となった。全ての業種で 30%以上の事業者が「減収減益」と回答している。

一方で「増収増益」と回答した事業者は、サービス業他が 16.3%、次いで製造業 14.5%、飲食業 14.3%となった。

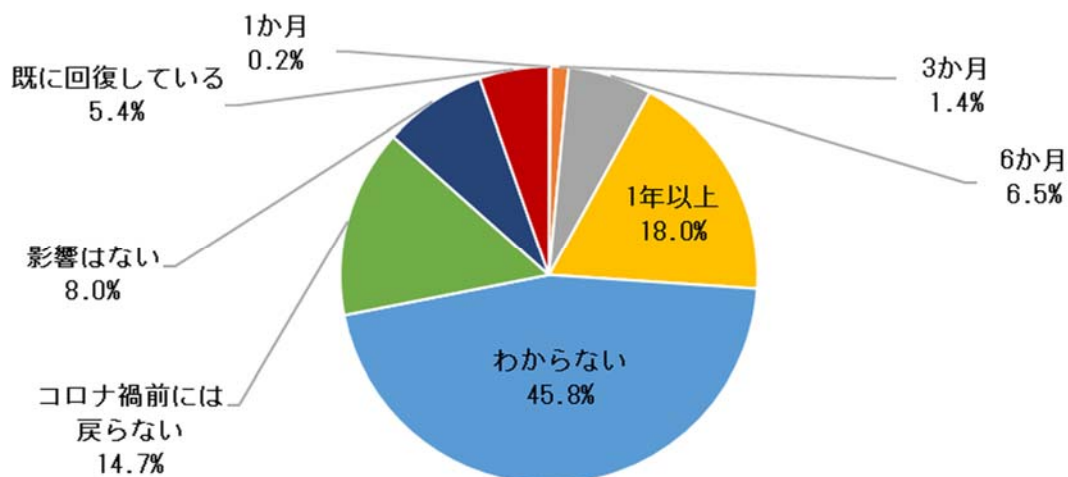




(7) 現段階までの影響について、業況回復にはどの程度の期間を要すると考えているか

「1年以上」もしくは「わからない」と回答した事業者は、全体の63.8%にのぼり、前回の調査と比較して1.9ポイント悪化し、影響が長期化すると考えている事業者が増加した。また、「コロナ禍前には戻らない」と回答した事業者は14.7%と、前回の調査から1.6ポイント悪化した。

「影響はない」「既に回復している」と回答した事業者は13.4%で、前回調査から2.5ポイント悪化した。



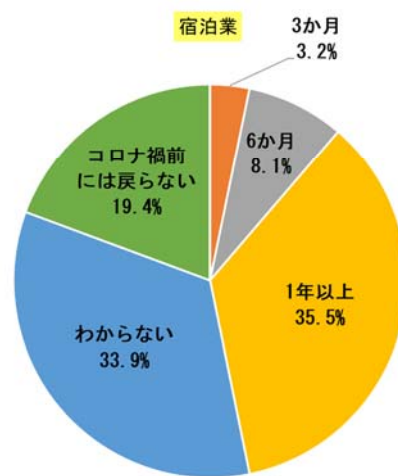
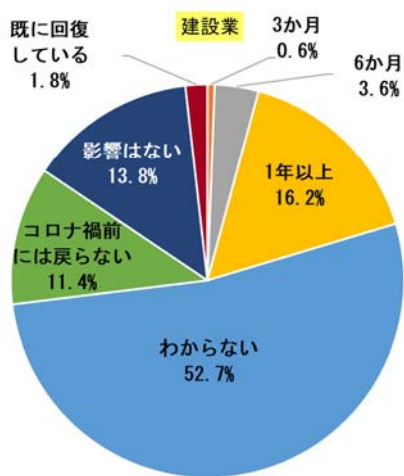
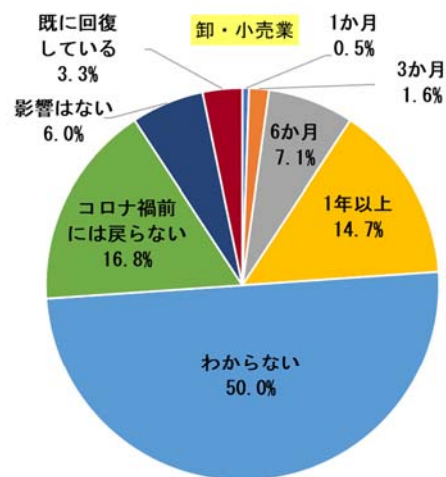
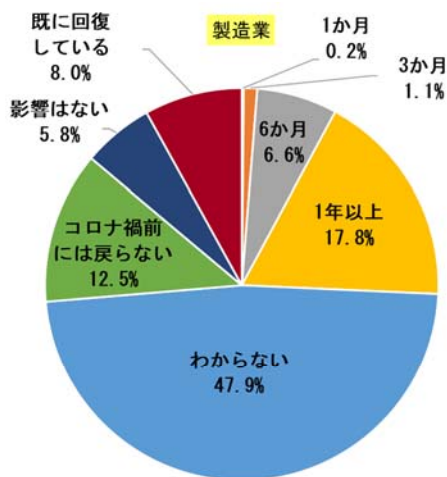
■業種別 業況回復に要する期間

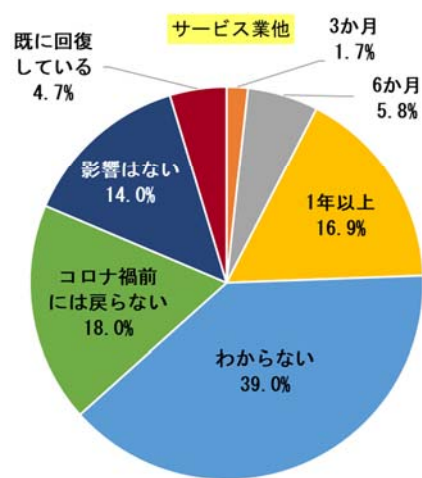
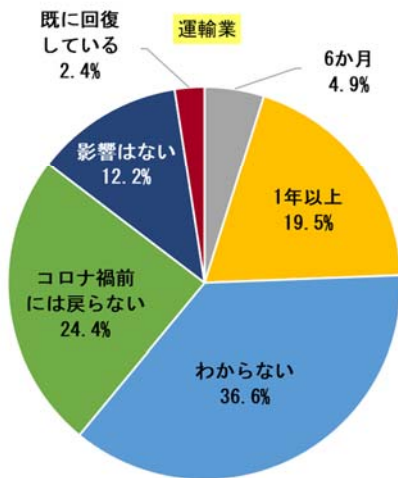
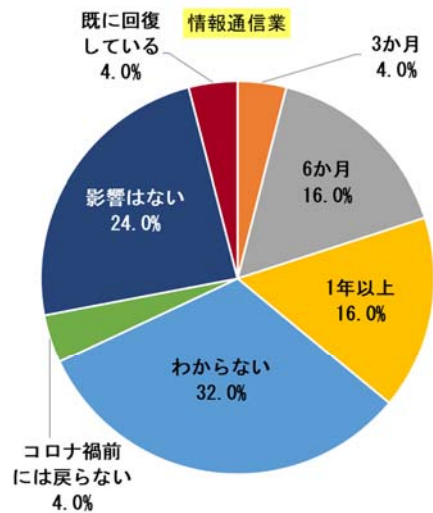
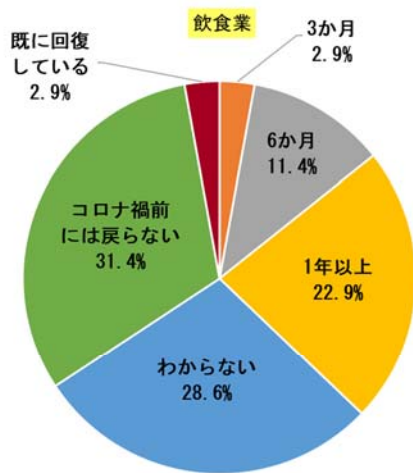
(単位：社)

	1か月	3か月	6か月	1年以上	わからない	コロナ禍前 には戻らない	影響はない	既に回復 している	合計
製造業	1	7	42	113	304	79	37	51	634
卸・小売業	1	3	13	27	92	31	11	6	184
建設業	0	1	6	27	88	19	23	3	167
宿泊業	0	2	5	22	21	12	0	0	62
飲食業	0	1	4	8	10	11	0	1	35
情報通信業	0	1	4	4	8	1	6	1	25
運輸業	0	0	2	8	15	10	5	1	41
サービス業他	0	3	10	29	67	31	24	8	172
	2	18	86	238	605	194	106	71	1,320

「コロナ禍前には戻らない」と回答した事業者は、飲食業が最も多く31.4%となり、前回の調査から16.0ポイント悪化した。次いで運輸業が24.4%、宿泊業が19.4%となった。

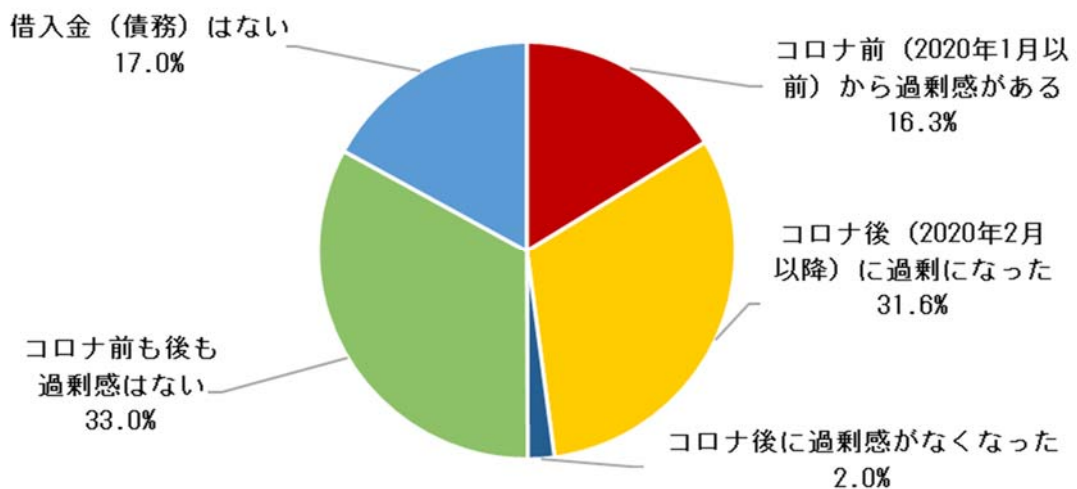
一方で「影響はない」「既に回復している」と回答した事業者は、情報通信業が28.0%と最も多く、次いでサービス業他が18.7%となった。





(8) 借入金（債務）の状況はどうか

「コロナ後に過剰になった」と回答した事業者が 31.6%に上り、「コロナ前から過剰感がある」との合計は 47.9%となった。半数近い事業者が、借入金額を過剰と感じていることが分かった。

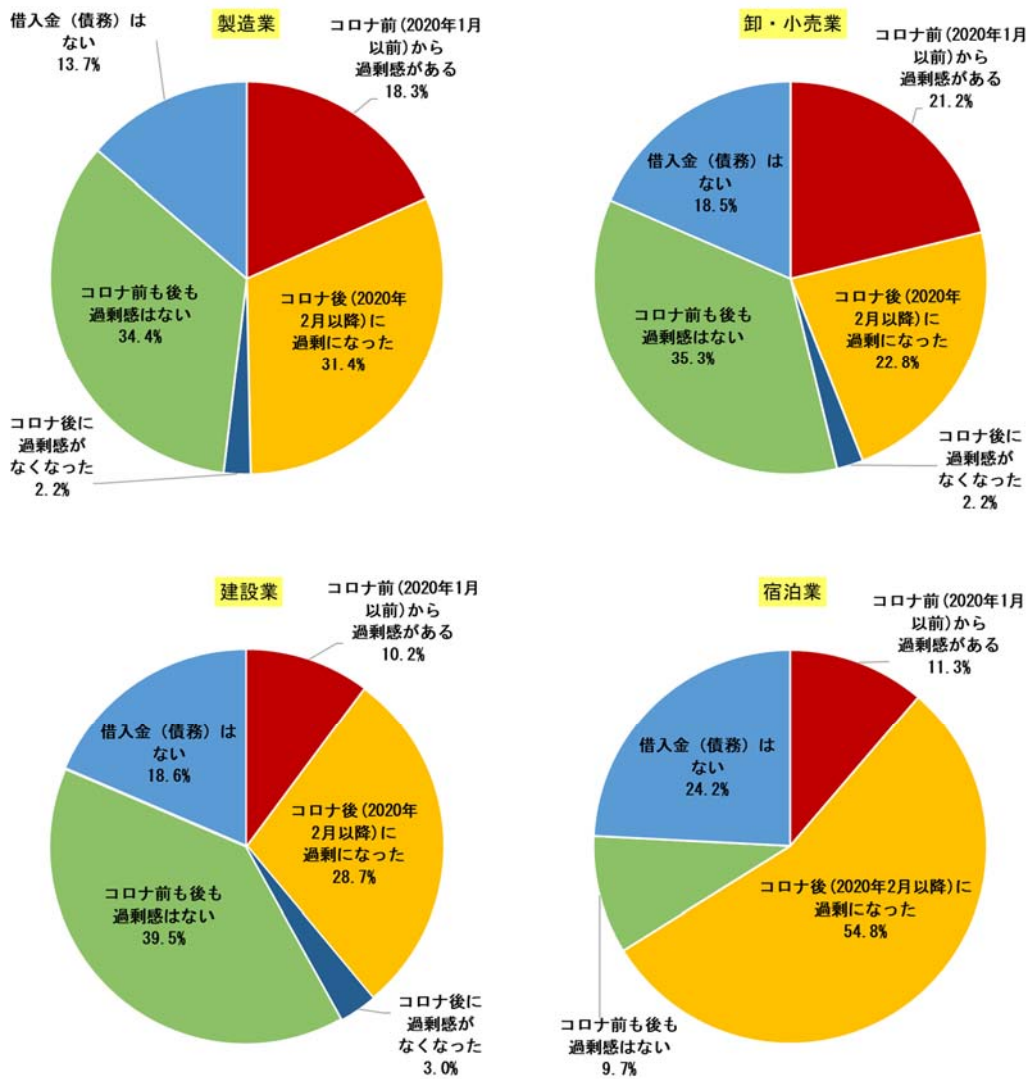


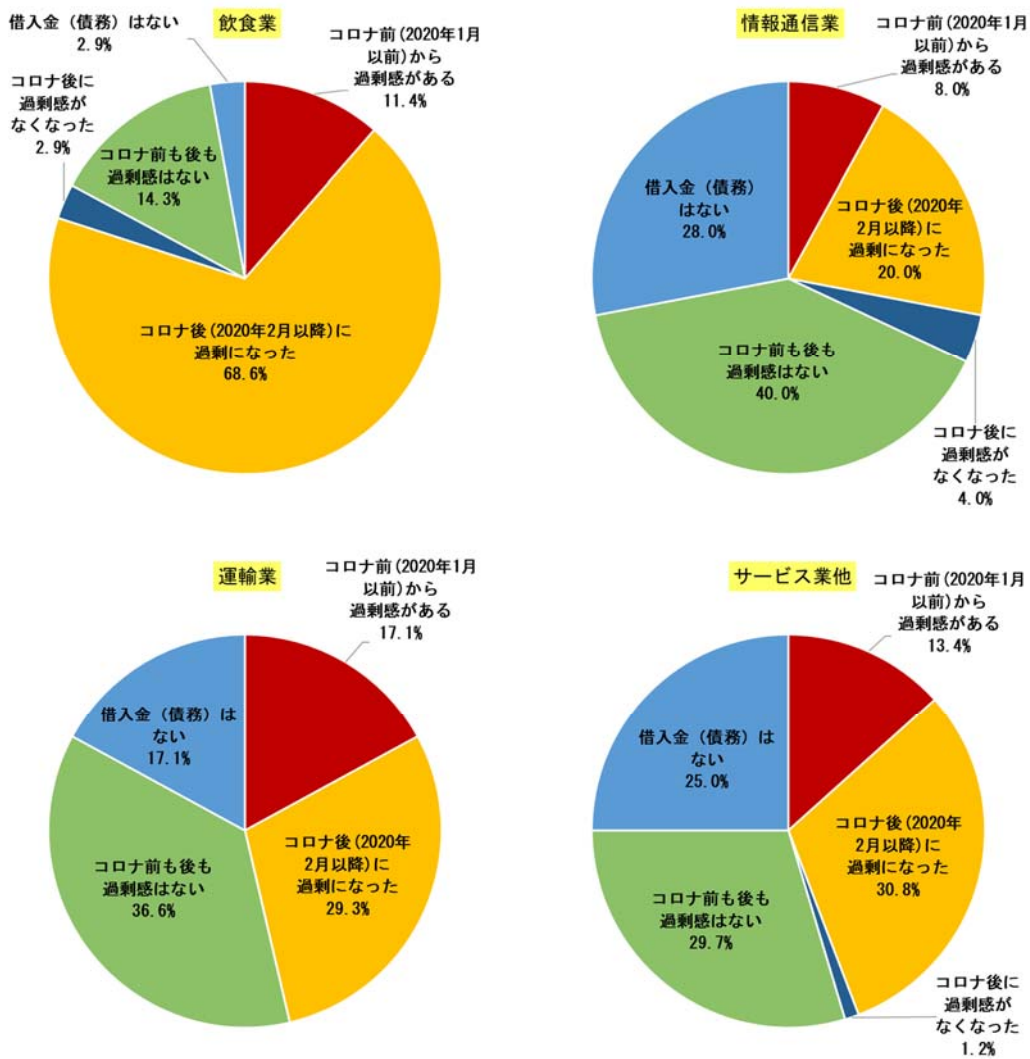
■業種別 債務（債務）状況

（単位：社）

	コロナ前(2020年1月以前)から過剰感がある	コロナ後(2020年2月以降)に過剰になった	コロナ後に過剰感がなくなった	コロナ前も後も過剰感はない	借入金(債務)はない	合計
製造業	116	199	14	218	87	634
卸・小売業	39	42	4	65	34	184
建設業	17	48	5	66	31	167
宿泊業	7	34	0	6	15	62
飲食業	4	24	1	5	1	35
情報通信業	2	5	1	10	7	25
運輸業	7	12	0	15	7	41
サービス業他	23	53	2	51	43	172
	215	417	27	436	225	1,320

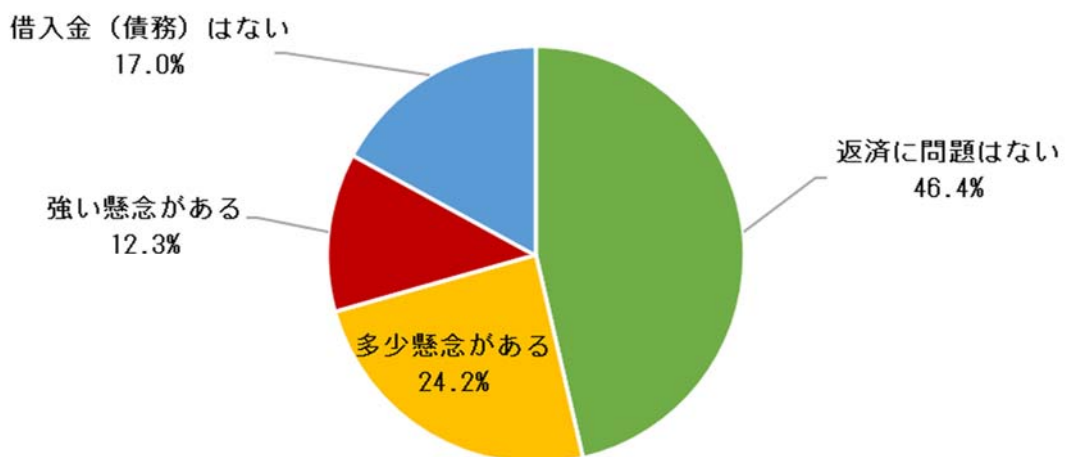
「コロナ後に過剰になった」と回答した事業者は、飲食業が最も多く 68.6%、次いで宿泊業が 54.8% となった。「コロナ前から過剰感がある」との合計でも同様に、飲食業が最も多く 80.0%、次いで宿泊業が 66.1%となった。





(9) 借入金（債務）について、返済の見通しはどうか

「強い懸念がある」と回答した事業者は 12.3%に上り、「多少懸念がある」との合計は 36.5%となった。一方で「借入金はない」「返済に問題はない」と回答した事業者は 63.4%だった。

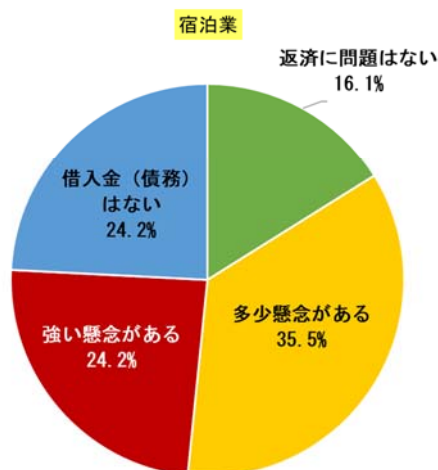
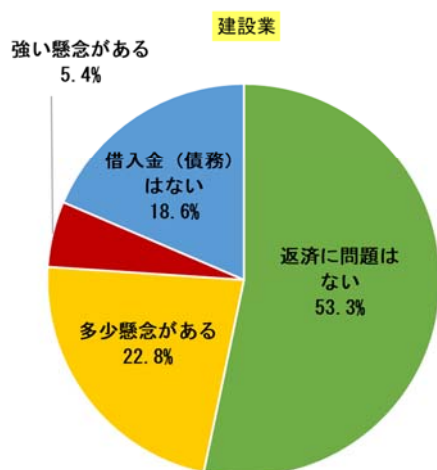
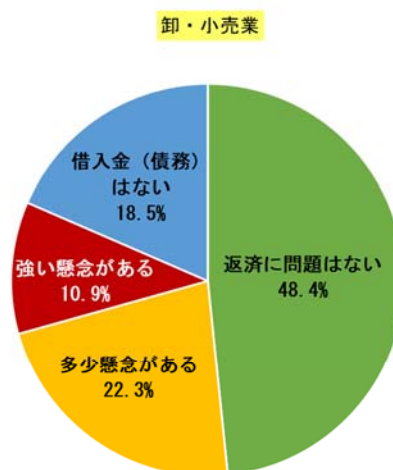
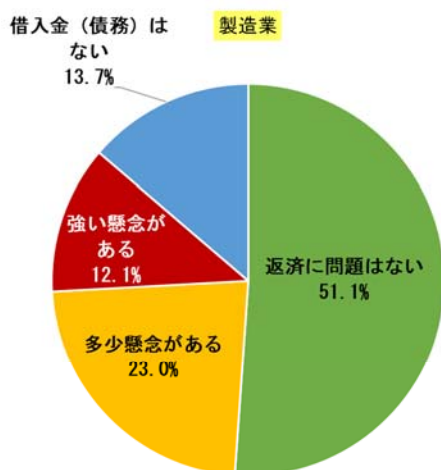


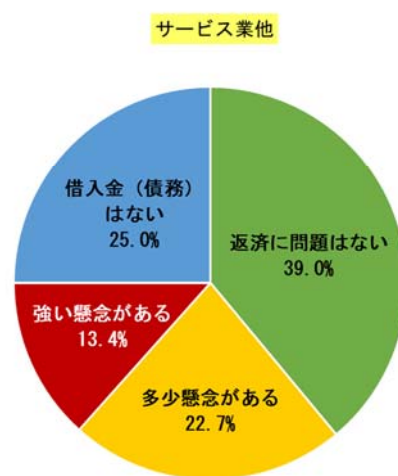
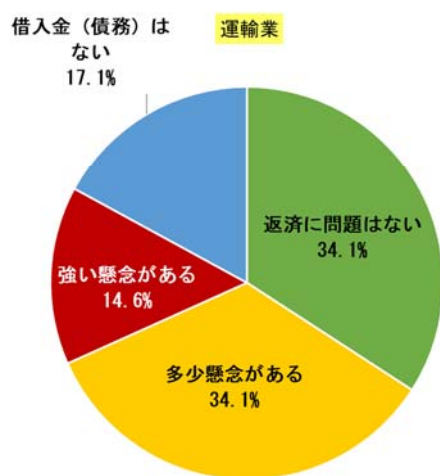
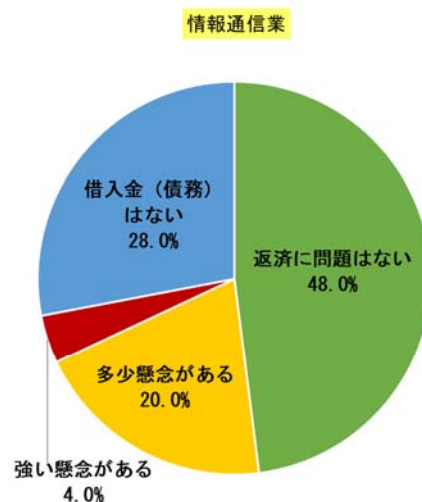
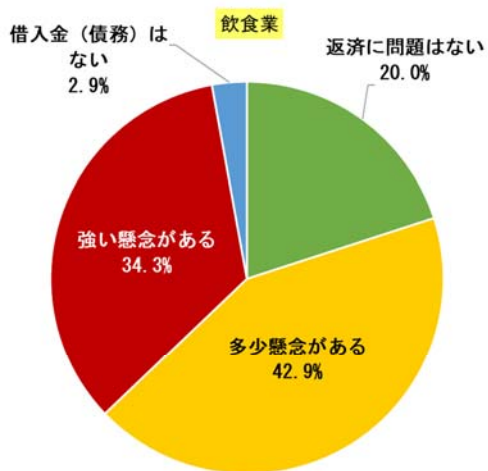
■業種別 債務（債務）の返済見通し

(単位：社)

	返済に問題はない	多少懸念がある	強い懸念がある	借入金（債務）はない	合計
製造業	324	146	77	87	634
卸・小売業	89	41	20	34	184
建設業	89	38	9	31	167
宿泊業	10	22	15	15	62
飲食業	7	15	12	1	35
情報通信業	12	5	1	7	25
運輸業	14	14	6	7	41
サービス業他	67	39	23	43	172
	612	320	163	225	1,320

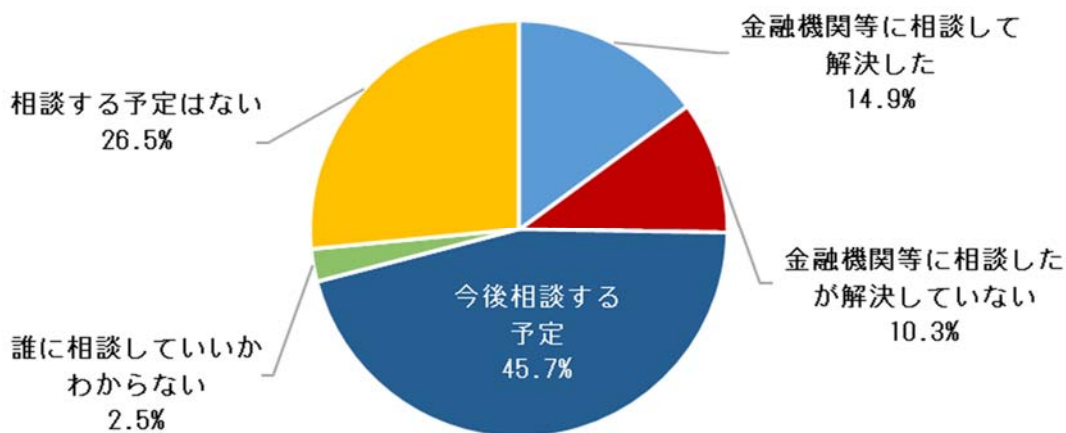
「強い懸念がある」と回答した事業者は飲食業が最も多く 34.3%、次いで宿泊業が 24.2%となった。「多少懸念がある」との合計でも飲食業が最も多く 77.2%、次いで宿泊業が 59.7%となった。一方で「借入金はない」「返済に問題はない」と回答した事業者は情報通信業が最も多く 76.0%、次いで建設業が 71.9%となった。





(10) 返済計画の見直し、もしくは新規融資について金融機関等に相談したか

「金融機関に相談したが解決していない」と回答した事業者は10.3%だった。また、「誰に相談していいかわからない」「相談する予定はない」と回答した事業者は29.0%だった。資金繰りに懸念がありながら、対応していない事業者の存在が分かった。



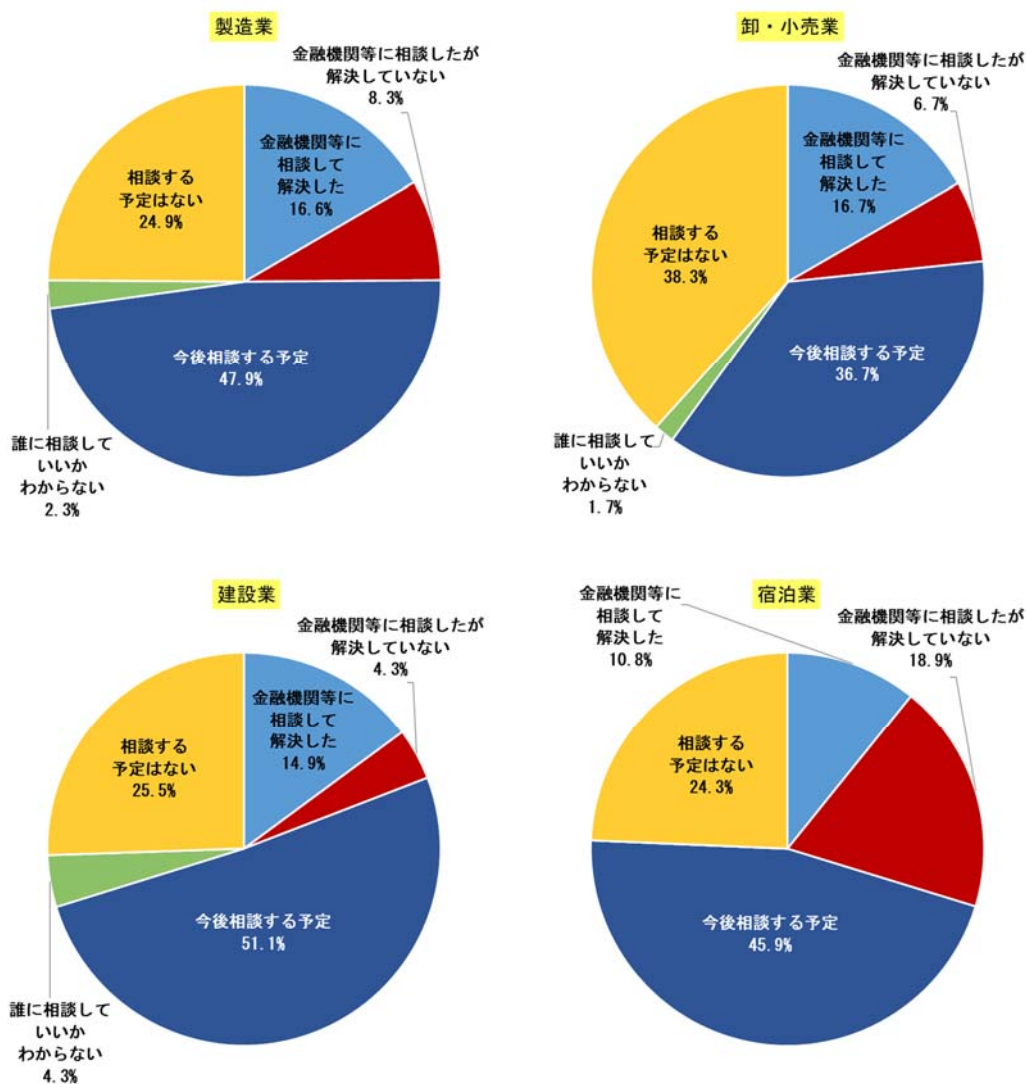
■業種別 金融機関等への相談

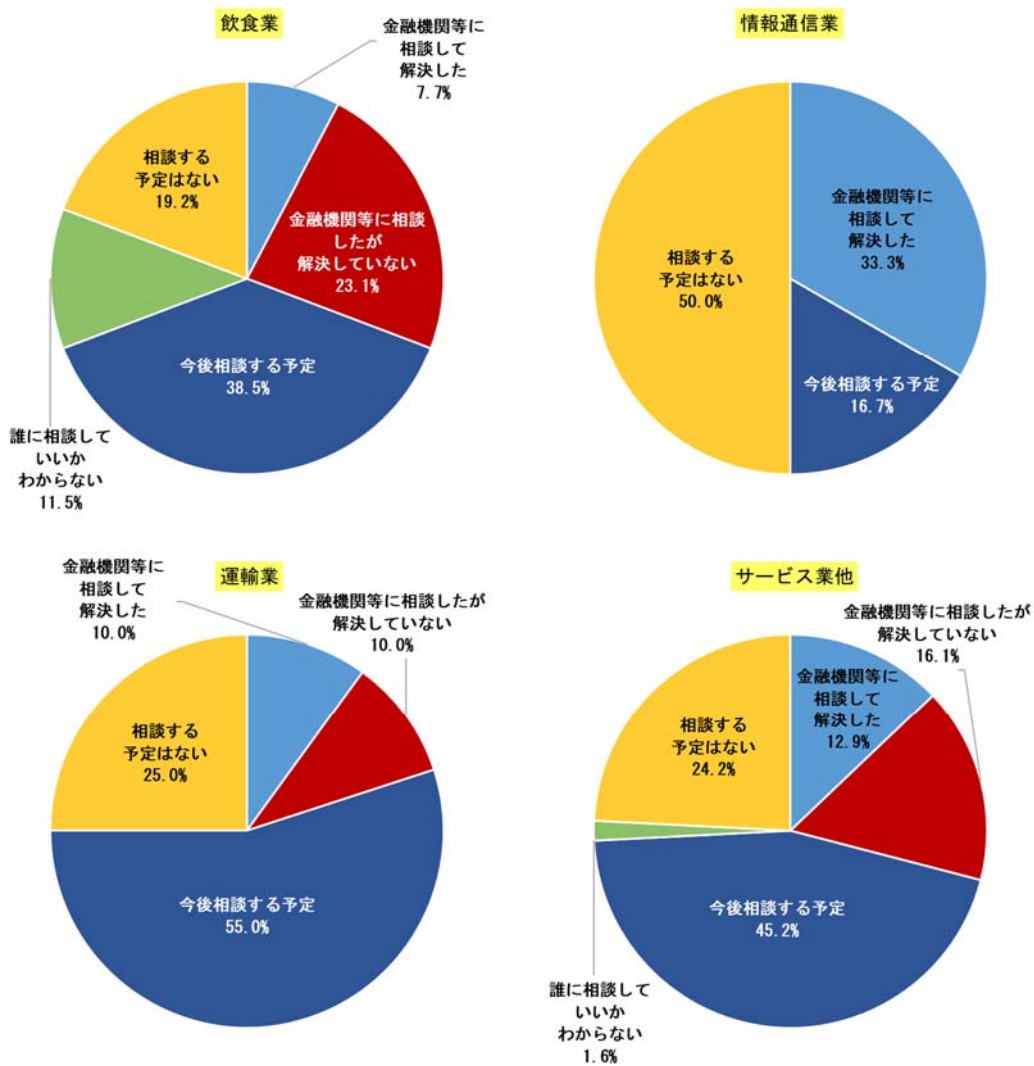
(単位：社)

	金融機関等に相談して解決した	金融機関等に相談したが解決していない	今後相談する予定	誰に相談していいかわからない	相談する予定はない	合計
製造業	36	18	104	5	54	217
卸・小売業	10	4	22	1	23	60
建設業	7	2	24	2	12	47
宿泊業	4	7	17	0	9	37
飲食業	2	6	10	3	5	26
情報通信業	2	0	1	0	3	6
運輸業	2	2	11	0	5	20
サービス業他	8	10	28	1	15	62
	71	49	217	12	126	475

※(9)で「多少懸念がある」または「強い懸念がある」と回答した場合のみ。
 ※8社が未回答のため、上記とは回答数が一致しない。

「金融機関に相談したが解決していない」と回答した事業者は、飲食店が最も多く 23.1%、次いで宿泊業が 18.9%となった。また、「誰に相談していいかわからない」「相談する予定はない」と回答した事業者は、情報通信業が最も多く 50.0%、卸・小売業が 40.0%であった。





(11) 現時点でどのような支援を希望するか (※複数回答可)

「補助金」が720件と最も多く、コロナ禍の影響を脱するために資金面での支援を希望している事業者が多いことが分かった。次いで「販路開拓・販売促進」が260件となっており、収益改善のために取引先の新規開拓や販促策を模索している事業者が多い結果となった。

※「支援の必要はない」を除く。

